

生命環境学部

生命環境学部の教育の理念・目標

生命環境学部は、「生命」と「環境」に関わる諸領域の学術を学際的、総合的に考究することを目的として、人間の生活や産業などの諸活動と自然環境との共生を図るための知識と技術を身につけられるようにします。具体的には、

1. 生命分子機能の応用
2. 生物機能開発と食料生産の向上
3. 食環境と健康の向上
4. 自然環境と情報環境の向上
5. 人間生活と住環境の向上
6. 森林の保全と利用

に関わるそれぞれの領域で、第一線で活躍できる人材育成を目標としています。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

生命環境学部では、「生命」と「環境」に関わる学術を学際的、総合的に身につけた人材育成のため、次の能力や学識を身につけた学生に対し、学士の学位を授与します。

1. 生命と環境に関わる広汎な教養に裏付けられた知識や汎用的技能を習得している
2. 生命と環境に関わる自然科学分野についての専門的知識や技術を習得している
3. 課題を見いだす洞察力と課題解決の筋道を見いだす能力を身につけている
4. 広い視野と柔軟な思考力を身につけている
5. 培ってきた知識や自ら行った研究内容を的確に表現できる能力を身につけている
6. 「生命」と「環境」に関わる学問領域について、情報収集や国際的コミュニケーションを行う能力を習得している
7. 社会的かつ学術的に高い倫理観を身につけている

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

生命環境学部では、ディプロマ・ポリシーに適う教育を、学部属する6つの学科ごとの教育プログラムに反映させ、これに基づいて教育・研究活動を行います。

いずれの学科においても、1年・2年次を中心に、全学共通の教養基礎科目、キャリア育成科目、教養総合科目、そして教養展開科目を履修させ、人間としての豊かな教養・汎用的技能を育むと共に、学部共通科目を履修させることにより各分野に共通する生命と環境に関わる自然科学や人文社会科学についての基礎的知識や総合的知識を習得させます。それに加えて、学科専門科目を、1年次以降、段階的に増やしながら履修させることで、それぞれの分野で系統的に基礎から専門に至る知識・技術を習得させます。特に、学科専門科目においては、少人数教育を広く取り入れ、懇切かつ丁寧な教育指導を行うことで、学術に対する広い視野や柔軟な思考力を育みます。学部教育の集大成として、研究室配属を通じて行う個別指導による卒業研究等を行い、課題を見出し解決する能力や表現力、国際的なコミュニケーション力を高めるとともに、学術的な倫理観を身につけさせます。

成績評価は、定期試験、小テスト、レポート課題に加え、主体的に授業に参加しているかの評価などを基に行います。また、卒業研究等では、履修した内容の習得度を総合的に最終評価します。